加古川市行政改革実行プラン
令和２年度における取組状況 及び 令和３年度以降の新たな取組について

本市では、平成 13 年度から５次にわたる行革緊急行動計画により行政改革に取り組み、職員数の削減や業務の民間委託などにより経費の削減に努めてまいりました。

しかしながら、少子高齢化が進み、財政状況が一層厳しくなることが見込まれる中、高度化・多様化する市民ニーズに的確に対応できるよう、経費削減、効率化だけでなく、質の高い公共サービスを提供し、市民満足度の向上を図るため、

①変化に対応するための職員力・組織力の向上

②次世代の負担軽減を図る経営基盤の構築

③市民の視点による行政サービスの推進

を基本理念とする「加古川市行政改革大綱」を平成 27 年３月に策定しました。

そして、この「大綱」に基づき、「加古川市行政改革実行プラン」を平成 28 年３月に策定し、「７つの重点事項」について、課題解決に取り組むこととしています。

令和２年度における主な取組と進捗状況は、以下のとおりです。

Ⅰ　令和２年度の主な取組

重点事項１　定員管理体制の確立と効率的な行政組織の構築（取組実績P. １～３、８項目）

- 人事評価を実施し、評価結果を処遇（勤勉手当・昇給）に反映させました。1-1-3
- 業務の効率化やコミュニケーションの活性化、働き方改革の推進を目指すプロジェクトチームを立ち上げ、フリーアドレスや無線LANの試験導入を実施するほか、効率的な行政組織の構築に向けて38項目の取り組みをまとめました。1-2-5

重点事項２　職員のスキルアップと意識改革（取組実績P. ４～５、５項目）

- ＯＪＴ研修や職場倫理研修、女性活躍推進研修など様々な研修を実施し、職員のスキルアップに努めました。2-1-1、2-1-2、2-1-3、2-1-4
- 職員の法務能力向上のため、各部局における法的課題への対応にあたり中心的な役割を担う職員に対し、弁護士による法務研修を実施しました。2-1-5

重点事項３　財政計画の策定と自主財源の確保の強化（取組実績P. ６～８、９項目）

- ふるさと納税については、具体的な使途を掲げて寄附を募るとともに、記念品数を増やし、ＰＲを促進しました。3-3-1
  （歳入効果額：約３億1,600万円）
- ホームページバナー、広報かこがわ、コミュニティバスのバス停、行政情報モニター等に広告を掲載し、財源の確保に努めました。3-3-2（歳入効果額：約700万円）

重点事項４　事務事業の見直し（取組実績P.９～18、27項目）

- 新たなマネジメントサイクルの仕組みとして「事業評価委員会」を行財政改革推進本部の下部組織として設置し、事務事業の妥当性や有効性、効率性を議論し事業の方向性を評価しました。4-1-1
- 指定ごみ袋制度の円滑な実施に向けて啓発に努めました。また食品ロス削減に向けた取り組みを実施しました。ごみ焼却処理量は平成２５年度実績と比べて21,818ｔ（24.4%）減少しました。4-1-18
- ３密対策など「新しい生活様式」をとり入れた加古川イルミネーション事業を計画しました。4-1-26
- 消防予算における将来負担の軽減及び平準化を図ることができる車両更新計画を策定しました。4-1-28
- 兵庫県子ども会連合会加入補助制度を廃止するとともに少年団地域活動振興委託料を増額し、少年団活動を推進するための見直しを実施しました。4-1-30

重点事項５　市民サービスの向上（取組実績P.19～20、４項目）

- マイナポイント制度の普及啓発やワンストップサービスを活用した特別定額給付金の電子申請を実施しました。5-1-1

重点事項６　積極的な情報発信（取組実績P.21、２項目）

- 令和２年４月に開設したＬＩＮＥを始めとする各種ＳＮＳや新聞折込等様々な媒体を活用しながら新型コロナウイルス感染症やスマートシティ、安全安心などをテーマに積極的な情報発信を行いました。6-1-1

重点事項７　市民参画による協働のまちづくりの実現（取組実績P.22、２項目）

- スマイルメールシステムの改修を行い、検索性が向上したことで市民からの意見や意識などを効率的に把握できるようになりました。7-1-1

Ⅱ　令和３年度以降の新たな取組

加古川市行政改革実行プランでは、目標を達成した取組は実行プランから除く一方で、新たに出てきた課題を追加することで、継続的に改革を進めていくこととしています。

このたび、実行プランの取組について、令和３年度以降の新たな取組を以下のとおり追加しました。

重点事項１　定員管理体制の確立と効率的な行政組織の構築（新規取組P.１、２項目）

- 係長級、非役職者区分へ「昇格試験制度」を導入するとともに、職員研修制度や人事評価制度と連動した昇格制度を構築します。1-1-5
- 職員の能力を最大限に活用するため、効率的かつ機動的な機構・組織への再編や人員配置の見直しを実施するとともに、社会経済情勢の変化に対して創意工夫をもって対応できる仕組みを構築します。1-2-6

重点事項４　事務事業の見直し（新規取組P.２～３、４項目）

- 令和４年度に東消防署が移転することに伴い、消防本部管内全域における各種消防車両の適正配置等を検討し、災害に迅速かつ的確に対応できる車両配備体制を構築します。4-1-36
- 救急需要対策及び職員の多様な働き方にかかる環境整備を図るため、日勤（デイタイム）救急隊の設置について検討します。4-1-37
- 加古川市防災センターにおける市民等防災体験案内業務のあり方を検討し、案内業務の見直しを図ります。4-1-38
- 浄化槽補助制度には設置整備事業補助と維持管理費補助があり、維持管理費補助については、要綱の附則において施行後７年を経過した後（令和４年度）に、検討を行うこととなっており、必要がある場合は見直しを行います。設置整備事業補助についても令和７年度までの補助対象期間となっていることから、維持管理費補助と合わせて検討を行います。4-1-39

重点事項５　市民サービスの向上（新規取組P.４、１項目）

- 地方公共団体の行政手続のオンライン化については、「自治体デジタル・トランスフォーメーション推進計画（令和２年12月25日）」において、令和４年度末を目指して、原則、全自治体で、特に国民の利便性向上に資する手続についてオンライン手続を進めることとしています。そこで、本市においても、令和２年度に実施した行政手続棚卸業務の結果を活用し、市民の利便性の向上に資する行政手続のオンライン化を推進するとともに、併せて業務フローを見直し職員の働き方改革を推進します。5-1-8

重点事項６　積極的な情報発信（新規取組P.５、１項目）

- オープンデータカタログサイトにおいて、機械判読に適し、二次利用可能なルールが適応された、公共データ（オープンデータ）の公開を進め、市民、事業者などが広く活用できる状態にします。6-1-5

Ⅲ　進捗状況

令和２年度における 57 の課題項目の進捗状況は以下のとおりです。

「Ｆ：令和2年度をもって取組を完了します。」「Ｓ：予定より早く実施できました。」「Ａ：予定どおり実施できました。」を合計すると 47 項目あり、全体の 82.5%が順調に進捗しています。「Ｂ：予定どおり実施できませんでした。」については、早急にスケジュールを見直し、目標達成に向け取組を進めます。

なお、取組が完了した 31 項目については、行政改革実行プランから除く一方、新たに出てきた課題８項目を追加しました。令和３年度は、合計 34 項目の取組を進めていきます。

表１　進捗状況一覧表

重点事項	項目数	進捗状況				追加項目
		F	S	A	B	
1　定員管理体制の確立と効率的な行政組織の構築	8	6			2	2
2　職員のスキルアップと意識改革	5	4		1		
3　財政計画の策定と自主財源の確保の強化	9	3		4	2	
4　事務事業の見直し	27	15		8	4	4
5　市民サービスの向上	4	1		2	1	1
6　積極的な情報発信	2	1		1		1
7　市民参画による協働のまちづくりの実現	2	1			1	
合　計	57	31		16	10	8
割　合	%	54.4		28.1	17.5	

【進捗状況】
F…令和２年度をもって取組を完了します。
S…予定より早く実施できました。
A…予定どおり実施できました。
B…予定どおり実施できませんでした。